1993年9月6日　第三種郵便物認可

自治ひょうご

1651号

2024. 5. 15

月2回（1日、15日）発行　定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

発行 全日本自治団体労働組合　兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/　E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

当面の日程

24～25日　反行革・組織集会（いこいの村はりま）
25日　メディカルワーカーズアクション（センタープラザ西館）
25日　女性組合員交流会（ケーニヒスクローネスイーツづくり館）
25日　人権教育ひょうご第27回総会（ラッセホール）
26日　平和友好祭「love&peaceフェス」（ひょうご共済会館）
27～28日　自治労第166回中央委員会（ウェブ開催）
31日　労働学校・基礎編（ひょうご共済会館）
6月1日　第25回平和・人権・環境を考える集い（魚崎会館）

第95回兵庫県メーデー

さらなる格差改善を
安心して暮らせる新たなステージへ

世界中で労働者のイベントやデモ行進などが行われているメーデー。兵庫においても第95回兵庫県メーデーが4月27日から5月1日にかけて県内15地域で開催され、式典や抽選会などが実施された。

兵庫県メーデー神戸中央大会は4月27日の10時から――神戸・大倉山公園野球場で開催され、約5千人が参加した。あいにくの雨模様のため、デモ行進とキッチンカーの出店は中止となった。式典であいさつを行った福永明連合兵庫会長は「今年のスローガンは『連帯の力で平和と人権を守り、誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！被災地の復旧復興に向けて、みんなで支え合い・助け合おう！』です。スローガンにあるように能登半島地震の被災地、復旧復興に向け、私たち一人ひとりが出来ることに精一杯、取り組むことを確認しあいたいと思います。また、春闘では要求額を超える回答が多く見られたが、満額を超えた部分の財源は取引適正化に向け、中小企業の労働条件向上に配慮すべき。さらなる賃上げと格差改善を進めよう」と訴えた。来賓紹介のあと「現場の声」として兵教組から学校現場での教職員未配置による過酷な労働実態について報告。JP労組からは慢性的な人員不足とその原因についての実態報告があり、現状を共有した。

雨の中５千人が参加したメーデー神戸中央大会

反核平和の火リレー

今年は6月スタート
リレーPR動画を公開

「核兵器の廃絶」をスローガンに掲げ青年女性が取り組む反核平和の火リレーが、今年は6月3日、県庁前をスタートする。平和友好祭実行委員会はリレー運動を通して、自治体に「非核自治体宣言」採択を求めてきたが、今年3月、佐用町が「非核・平和のまち宣言」を採択したことで、県内全自治体が採択にいたった。今後、平和行政の推進を求めていく。

リレーを取り組むにあたって県本部青年部・女性部は、YouTube動画を作製した。動画を使って、走る前に「なぜ走るのか」単組で学習会を行ってほしい。

PR動画QR

立憲民主党 参議院議員
岸まきこ
とともに
全世代が
安心して暮らせる
社会保障制度を
確立しよう！
自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。
岸まきこ　公式サイト
kishimakiko.com/
岸 まきこ 検索

障害者春闘2024

長期入所は人権侵害
脱施設で地域移行を進める

神戸市立障害者センターで4月6日、障害者春闘2024が開催された。

障問連の石橋宏明事務局長から「今回の障害者春闘のテーマの要は『脱施設から地域移行へ』だが、自治体の財政的な問題などにより地域移行が停滞しているのが現状。神戸では精神病院で虐待事件が発生するなど様々な問題が山積しているが、素朴な意見や疑問を出していただきたい」とあいさつを受けた。

講演では障大連議長の古田朋也さんから「現在、大阪府と府内各市では原則グループホームは最大10人まで収容とし、地域での自立生活は過去に比べ広がってきたが、国連・障害者権利条約で脱施設化の枠組みの欠如の改善が勧告されているにも関わらず、いまだ多くの障害者が施設に取り残されている。施設での長期入所は人権侵害との声を国・自治体・社会に訴え、一人でも多くの障害者が地域で暮らせる運動を進めていこう」と講演を受けた。

講演後は、神戸でガイドヘルプ制度の廃止、大阪メトロの各駅の無人化などの問題点について活発な質疑応答が交わされ閉会した。

活発な議論が行われた

第25回平和・人権・環境を考えるつどい

日時　2024年6月1日（土）12：30～
場所　神戸市東灘区 魚崎会館
講演　地球沸騰化時代!!
　　気候変動問題と次世代への責任
講師　気候ネットワーク
　　山本 元 さん

どうする温暖化?

しこう

各地のメーデーを満開のツツジが彩りを添えた。参集した産業別の労組の多くの方と早期退職、転職が話題に上った。入社早々に配属ガチャを理由に退職する人や退職代行サービスが増え、転職で夢を煽るCMが溢れる▼自己責任とコスパ・タイパ思考が強まる時代には、労働組合で労働条件を改善し職場を良くする活動はタイパが悪いのだろうか▼多様性を認め合う時代に「今時の・・」と一括りしてはダメだが、組合加入を取り組む単組の声が頭をよぎる▼それでも様々な努力で組合加入や自治労共済の促進に成果を出す単組報告もある。人員確保闘争の取り組みも4月人事異動で悲鳴が上がる職場の改善にむけて始まっている▼タイパだけでは計れない労働組合の意義を知ってもらうためにも職場で様々なことに戸惑う新人に呼び掛け、悩みを共有しながら一緒に取り組もう。　⑪

大西英剛

5・3プレ集会

改憲は許されない

軍事大国へと進む日本

日本の現状を説明する長岡講師

戦争をさせない、９条を壊すな！総がかり行動実行委員会は、５月に開催される兵庫憲法集会に向けて「戦争をさせない、９条壊すな！５・３兵庫憲法集会プレ集会」を４月24日に神戸市内で開催し、県内から約１００人が参加した。

冒頭、主催者あいさつに立った羽柴修弁護士は「先日のニュースで岸田首相がアメリカを訪問し、『アメリカは世界の道標』と述べたが、イスラエルを支援するアメリカはガザで起こっているジェノサイドをどう考えるのか。あれが世界の道標なのだろうか。また、ウクライナやガザでの戦争を見ると混沌からの道標を模索する必要があるのではないか」と述べた。

講演は「緊急事態改憲のねらいと本質、改憲発議を許さないために」をテーマに長岡徹さん（関西学院大学名誉教授）が行った。講演では「中国の脅威論を口実として岸田政権は大軍拡を行っている。これまで考えられなかった防衛予算の倍増など国会議論を軽視し、閣議決定で実施している。着々と軍事力の増強を行っており、専守防衛からかけ離れ、矛盾がますます拡大している」と日本の現状について触れた。議員の任期延長論については「大災害を口実に進めようとしているが、最終的には緊急事態宣言を認めさせる議論であり、戦争有事を憲法に位置付ける『緊急事態改憲』である」と批判した。

七尾市への自治労支援

現地レポート・北川寿一

自治労は３月から能登半島地震被災自治体への支援を開始。兵庫からは橋本維文（三田市職労）と北川寿一（稲美町職）がボランティアに参加。

主な目的は七尾市職員の負担軽減で、兵庫は総合支援窓口を担う事になった。珠洲市、輪島市はクローズアップされているが、七尾市は報道が少ない。それでも市内を歩くと復旧・復興に数年はかかることが容易に想像できた。

今回の震災による特別な窓口（罹災の各種支援策）は多くの市民が押し寄せ、スムーズな申請受付ができるよう商業施設４階ホールを貸し切って行われた。入口で目的別に市民を誘導し、専門窓口は全国からの派遣公務員（国、県、市町村）が担い、統括的立場で七尾市の職員がバックヤードで事務を行った。

申請受付と案内を担当した２人

組織拡大に注力

現場の声を大きな吉にかえていく

福永大吉ブロック事務局長を紹介

４月から市役所を休職し阪神淡路ブロック事務局長として組合専従となった福永大吉さんに話を伺った。

福永さんは１９９９年に尼崎市に建築職で入職し、尼崎市職労の建設支部書記長、尼崎市職労の書記次長を務め、職場では一貫して建設部門を担当。役所には基本的に守るべきルールはあるが、住民視点に立った対応を心がけてきた。その対応について上部と意見が合わなかったこともあるという。これまで単組役員を務めてきたが「現場の声」を届けたいという思いが強かったとのこと。特に印象に残っているのは、保育現場の処遇改善だったという。組合アンケートで職場実態をつかみ、当局に改善を迫ったことだ。

ブロック事務局長としての抱負は、これまでの先輩が進めてきた取り組みの基本は守りつつ、新規採用の組合加入に力を入れたいとのこと。最後に性格を伺ったが、意外と几帳面だが、しゃべりだしたら止まらないので、その際は指摘して下さいとのことだった。

6月期闘争の推進

闘争サイクルを確立し取り組み強化

この間の人員削減により現場は疲弊しており、このような現状を克服するため、単組では職場単位の人員配置の現状、時間外労働時間、年休・振替休の取得状況などを把握・分析し、職場の意見に基づいた業務量や任務分担の見直しなど人員の確保、労働条件の改善をめざし、自分たちの声をあげ、組合に結集し、力をあわせたたかいを進めていかなければならない。

県本部は６月７日に１時間ストライキを配置し、人員確保・ジェンダー平等・現業公企統一闘争を取り組み、夏季一時金闘争は６月14日に29分時間内食い込み集会を配置する。

各単組は要求―交渉―妥結の闘争サイクルの確立に向け取り組みを進めよう。

6月期闘争の日程

【人員確保闘争】
（現業公企第１次ゾーン）
（男女平等産別統一闘争）

要求書提出	５月21日（火）
回答指定日	５月31日（金）
交渉ゾーン	５月31～６月６日
統一交渉日	６月６日（木）
統一行動日	６月７日（金）（1hスト配置）

【夏期一時金闘争】

要求書提出	５月29日（水）
回答指定日	６月５日（水）
交渉ゾーン	５月５～６月13日
統一交渉日	６月13日（木）
統一行動日	６月14日（金）（早朝29分配置）

こくみん共済 coop NEWS
5120A034
自治体職員の
交通事故に
大きな力を発揮する
じちろう マイカー共済
自動車総合補償共済
交通事故による、まさかの失職に備えを!
公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であっても過失の罪を問われて職を失うのです。この場合、懲戒免職と同様に、
退職金は支払われない場合がほとんどです。
このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります!
こくみん共済 coop〈全労済〉全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。
ご不明な点があれば、
まずは所属の組合にご連絡ください。
まさか自分が、事故を起こすなんて…

全労済自治労共済本部資料より引用